

平成28年千葉市教育委員会会議
第7回定例会会議録

千葉市教育委員会

平成28年千葉市教育委員会会議第7回定例会会議録

日時 平成28年7月20日(水)

午後2時00分開会

午後3時00分閉会

場所 教 育 委 員 会 室

出席委員 委 員 長 中野 義澄
委 員 内山 英夫
委 員 和田 麻理
委 員 明石 要一
教 育 長 志村 修

出席職員 教 育 総 務 部 長 矢澤 正浩 保 健 体 育 課 長 中村 宏
学 校 教 育 部 長 伊藤 裕志 教 育 セ ン タ ー 所 長 増澤 保明
生 涯 学 習 部 長 大崎 賢一 養 護 教 育 セ ン タ ー 所 長 植草 伸之
総 務 課 長 國方 俊治 生 涯 学 習 振 興 課 長 増岡 忠
参 事 兼 企 画 課 長 大橋美帆子 中 央 図 書 館 長 松尾 修一
学 校 施 設 課 長 真田 賢一 総 務 課 総 括 主 幹 山田 利雄
学 事 課 長 大井 力 学 事 課 長 補 佐 浅井 滋
教 職 員 課 長 山下 敦史 文 化 財 課 長 補 佐 芦田 伸一
県 費 移 讓 課 長 大野 治充 保 健 体 育 課 主 任 指 導 主 事 由利 知子
指 導 課 長 福本 順

書 記 総 務 課 総 務 班 主 査 大 須 賀 隆 之 総 務 課 主 事 坪 山 耕 太
総 務 課 主 任 主 事 佐 久 間 暁 子 総 務 課 主 事 鈴 木 理 沙

- 1 開会
中野委員長より開会を宣言
- 2 会議の成立
過半数の委員の出席により会議成立
- 3 会議録署名人の指名
中野委員長より明石委員を指名
- 4 会期の決定
平成28年7月20日（1日間）ということで全委員異議なく決定
- 5 議事日程の決定
議事日程を全委員異議なく決定
- 6 会議録の承認
平成28年第5回定例会会議録を全委員異議なく承認
- 7 議事の概要
 - (1) 非公開事項の決定
議案第6号を非公開とする旨決定
 - (2) 報告事項
報告事項(1) 平成28年第2回千葉市議会定例会について
國方総務課長より報告があった。
報告事項(2) 夏季休業中の事故防止について
大井学事課長より報告があった。
報告事項(3) 平成27年度千葉市立小・中・特別支援・高等学校における体罰及びセクシュアル・ハラスメントに関する実態調査の結果について
山下教職員課長より報告があった。
報告事項(4) 第63回千葉市小学校音楽発表会(中央区・若葉区・緑区)について
福本指導課長より報告があった。
報告事項(5) 第43回千葉市小学校表現運動発表会(花見川区・稲毛区・美浜区)について
中村保健体育課長より報告があった。
報告事項(6) 第69回千葉市中学校総合体育大会の開催について
中村保健体育課長より報告があった。
 - (3) 議決事項
議案第25号 平成29年度千葉市立養護学校高等部及び高等特別支援学校入

学者選考要項について

福本指導課長より説明があった後、審議。全委員異議なく、原案どおり可決した。

(4) 臨時代理報告

報告第6号 県費負担教職員の処分について

山下教職員課長より報告があった。

(5) 発言の要旨

報告事項(1) 平成28年第2回千葉市議会定例会について

中野委員長 総務課長、報告をお願いします。

國方総務課長 報告事項(1)「平成28年第2回千葉市議会定例会について」、報告します。

第2回千葉市議会定例会でございますが、6月9日から6月24日までの会期で、教育未来委員会や一般質問などが行われました。

次に、審議状況でございますが、5月に開催された教育委員会会議第5回定例会において、議案の提出についてご審議いただいた旧磯辺第二小学校解体工事の工事請負契約について、旧磯辺第一小学校解体工事に係る工事請負契約に関する議決事件の一部変更について、旧磯辺第二中学校解体工事に係る工事請負契約に関する議決事件の一部変更についての3件でございますが、6月24日の本会議において、原案どおり可決されました。

次に、一般質問についてでございます。全体で25人からの通告がありまして、そのうち11人が教育委員会に関する質問を行いました。主な質問の内容は記載のとおりでございます。

最後に、請願及び陳情の審査についてでございますが、請願及び陳情の計3件が千葉市議会議長宛てに提出されました。審査の結果ですが、請願第1号、小中学校の老朽校舎改修、トイレ改善とともにすべての教室にエアコンの設置計画を立てることを求める請願、及び陳情第4号、「公民館への指定管理者制度の導入について(素案)」に関する陳情の2件につきましては、継続審査とされました。

請願第2号、就学援助制度拡充を求める請願につきましては、不採択とされました。

なお、継続審査とされた2件ですが、次回の教育未来委員会において引き続き審査が行われることとなります。

平成28年第2回千葉市議会定例会に係る報告については以

上でございますが、ご不明な点や説明を要する点がございましたら、事務局までお問い合わせください。

中野委員長 では、審議に移りますが、質問等含めまして何かございますでしょうか。

明石委員 不勉強で教えてほしいのですけれども、請願と陳情の違いはどう違うのでしょうか。願って出すものと陳情というのは、法的なことを含め何かあるのでしょうか。

矢澤教育総務部長 制度的には議会の議員の紹介があったものが請願になりました。そういったものがないものが陳情となりますが、範囲といたしましては、基本的には変わりはありません。制度的にはその違いがあると思います。

中野委員長 ほかにいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

報告事項(2) 夏季休業中の事故防止について

中野委員長 学事課長、報告をお願いします。

大井学事課長 報告事項(2)「夏季休業中の事故防止について」、報告します。

7月19日火曜日から長期の夏季休業に入りましたが、教育委員会では例年市内の小・中・特別支援学校長宛てに、夏季休業期間中の学校事故防止及び職員の服務等について事前指導を実施するよう通知しております。本年は、6月17日金曜日付で発出いたしました。

主な内容につきましては、お手元の資料に記載のある問題行動等の指導について、水泳・交通安全指導等について、事故対策についてのほか、自主的な生活設計を立てさせる指導、運動部活動・対外競技等、生命尊重の教育の充実、そして教職員のサービスの7項目となっております。

なお、児童生徒の交通事故につきましては、水泳・交通安全指導等についての中で、自転車乗車中の事故が急増していることを明記し、交通事故防止に向けての安全指導を強化するよう依頼したところです。

この通知に基づき、各学校においては暑さが予想されることから、熱中症予防を含めたきめ細やかな事前指導を意図的・計画的に実施するとともに、7月1日金曜日までに夏季休業中の指導計画及び生徒指導計画を指導課に報告するなど、夏季休業中の事故防止に細心の配慮をしながら進めているところです。

教育委員会としましても、今後も引き続き子どもたちが事件・事故に巻き込まれることなく、有意義な夏休みとなるよう、時宜

にかなった必要な情報提供に努めるなど、学校現場を支援してまいります。

中野委員長 それでは、審議に移りますが、質問等含めまして何かございますでしょうか。基本的にはよろしいですか。例年と余り変わらないですね。同じことだと思いますので、よろしいでしょうか。

報告事項(3) 平成27年度千葉市立小・中・特別支援・高等学校における体罰及びセクシュアル・ハラスメントに関する実態調査の結果について

中野委員長 教職員課長、報告をお願いします。

山下教職員課長 報告事項(3)「平成27年度千葉市立小・中・特別支援・高等学校における体罰及びセクシュアル・ハラスメントに関する実態調査の結果について」、報告します。

昨年度に引き続きまして、市内の小・中・特別支援高等学校の児童生徒、一部保護者及び教職員を対象とした体罰、セクシュアル・ハラスメントの調査結果がまとまりましたので、ご報告いたします。

まず調査の目的についてですが、本調査は、児童生徒と教職員との関わり合いの中で起こる体罰やセクシュアル・ハラスメントに関する実態を把握するとともに、具体的な対策を講じ、より良い学校環境をつくるために実施したものでございます。

次に、調査の方法についてですが、調査対象は、市内の小・中・特別支援・高等学校に在籍する児童生徒及び教職員です。なお、小学校、中学校の特別支援学級、特別支援学校は保護者も含みます。また、調査対象期間は、平成27年4月から28年3月8日まででございます。

では、調査結果についてですが、体罰の件数は5件でございます。昨年度は13件でしたので大幅に減少しております。これにつきましては、26年度の体罰事案を各学校で取り上げて研修会を持ち、注意喚起をしたためと考えられます。言葉の暴力については、昨年度から新たな項目として調査した結果、中学校では増加傾向が見られました。

セクシュアル・ハラスメントの件数は、小学校で19人、昨年度は61人です。中学校では31人、昨年度は164人、高校では2人、昨年度は4人、児童生徒がセクハラを受けたと回答しています。

大幅に減少した原因といたしまして、昨年度の調査では質問事

項が曖昧で、友達同士のふざけや嫌がらせが多数含まれておりました。今回はそこを改善して、教職員からと明記したことで、対象がはっきりしたためと考えられます。また、教職員は小学校で22人、昨年度は10人、中学校で10人、昨年度は26人、特別支援学校で2人、昨年度は3人、高校で1人、同1人、がセクハラを受けたと回答しております。

特に小学校では、若い女性の先生も増え、児童や同僚から不快なことを言われたり、されたりすることが増えてきたものと考えられます。

各学校での体罰やセクシュアル・ハラスメントの防止の取り組みについては、学校長から回答を求めました。職員会議や打ち合わせ等において資料提示し、体罰、セクシュアル・ハラスメントの禁止について周知徹底を図っている学校が、昨年度に引き続き全体の8割を占めております。また、今後の対策としては、資料提示による注意喚起の継続、教職員研修の実施、教職員の連携の強化と共通理解、児童生徒、保護者との信頼関係の構築、複数体制での指導や支援、言葉の暴力や子どもの叱り方についての指導に取り組んでいくこと、そして、風通しの良い環境づくりということで回答がございます。

最後に、調査結果から見られる傾向や処分の状況についてですが、体罰の5件につきましては、全て厳重注意としています。また、調査を踏まえた今後の対応としてまとめてありますが、今後も学校との連携を図り、体罰及びセクシュアル・ハラスメントの防止に向けてより一層取り組んでいきたいと考えています。

なお、今回の調査結果につきましては、市の教育委員会のホームページにも掲載する予定でございます。

中野委員長 ありがとうございます。それでは、審議に移りますが、質問等含めまして何かございますでしょうか。

和田委員 相談の中でセクハラ相談員を指名しているという学校が1校あるということです。今後の対応の中で、セクハラ、パワハラ相談員を指名していくというようなことも上がっているのですけれども、これについては具体的に提示していこうというようなお考えでしょうか。

山下教職員課長 そこにつきましても、学校において相談しやすい環境ということで、教育委員会の中で検討しているところでございます。

和田委員 非常に繊細な問題で、誰が相談員になるのかなど大変難しい

ことだと思えます。社会人でつくっているサークルのようなものの中でも、やはりセクハラ相談員というのを設置しているという事例もあるようなので、これからの世の中は必要になっていくのかと思えます。それで人間関係がぎくしゃくしないようにということも並行していかななくてはいけないと思えますので、慎重によろしくお願いいたします。

山下教職員課長 わかりました。

中野委員長 ほかはいかがでしょうか。セクハラは教職員からと対象がはっきりしたので数が減ったということですがけれども、よろしいでしょうか。

報告事項(4) 第63回千葉市小学校音楽発表会(中央区・若葉区・緑区)について

中野委員長 指導課長、報告をお願いします。

福本指導課長 報告事項(4)「第63回千葉市小学校音楽発表会(中央区・若葉区・緑区)について」、報告します。

6月22日に今年度の千葉市小学校音楽発表会が行われました。今年度で63回目を迎える行事になっており、中央区、若葉区、緑区の55校、合計1,758名の児童が7つの会場に分かれて発表を行いました。

午前の部は5会場、午後の部は2会場で開催しました。開催時間につきましては、午前の部が9時から12時、午後の部は13時から16時までとし、参加校数や学校からの移動距離などを考慮して時間設定いたしました。千葉市文化センター、若葉文化ホール、あすみが丘プラザの実施が5グループ、2グループにつきましては、市内の小学校の体育館で実施いたしました。各会場の参加校数は7校から10校で、児童が安全に無理なく集合できるように調整しております。

内容につきましては、各会場共通のものでございます。その中に、千葉市おやこ歌集「金のうた銀のうた」というのがありますが、各会場ごとに歌集の中から1、2曲を選び、音楽主任の指揮のもと、参加者全員で歌っております。例年夏らしく「うみ」、あるいは「手のひらを太陽に」という歌を歌う会場が多く見られます。

また、「千葉市子どもの歌」、これにつきましては毎年必ず歌うようにしています。千葉市の子どもの郷土千葉市を愛する気持ち、千葉市に育つことに誇りを持ってほしいという願いを込

めて、近年では4月と5月に全校で歌う今月の歌として「千葉市子どもの歌」を位置づけしている学校も増えてきております。全員合唱は、講師の先生方や校長先生、参加の保護者の方にも一緒に歌っていただくようお願いしています。先生方も一緒に歌うという喜びは子どもたちの歌う意欲をさらにかき立てるものとなっております。

発表学年につきましては、中学年が大部分を占めておりますけれども、特別支援学級の児童が学級の中に入って一緒に参加するケースも大変多く見られました。発表の内容につきましては、斉唱、合唱、合奏、音楽劇などが多く、今年度はリズムアンサンブルや体を使って音を出して合わせるボディパーカッション、お囃子など、選曲や構成にさまざまな工夫が見られました。

発表から特に感じるのは、友達や地域、学校を愛する気持ちをテーマとした構成であることです。そして、それが学級経営にも生かされていることを子どもたちのいきいきとした表情から見てとることができました。

また、学習指導要領の趣旨を受け、我が国の伝統文化や音楽づくりを意識した発表も多く見られました。学校によっては少人数の学校もありましたが、一人一人の力を十分に発揮することができた、心が一つになった音楽会だと感じております。

音楽発表会の各会場を回った全体講師の感想、感じたことをまとめてございますので、ご覧になっていただければと思います。

最後になりますが、音楽発表会を終えて寄せられました児童の感想を幾つか読ませていただきます。

1つ目ですが、「音楽発表会に向けてたくさん練習した成果が出たと思います。一生の思い出になりました。」「ステージの上にならば、ドキドキと喜びがこみ上げてきました。」「これからも違う歌を諦めずにしっかり歌っていきたいと思います。」などという前向きな声が子どもたちから寄せられています。

中野委員長 ありがとうございます。では、審議に移りますが、質問等含めまして何かございますでしょうか。

和田委員 感想になりますが、蘇我小学校に伺わせていただいたのですが、大規模校、中規模校、小規模校と色とりどりの規模の学校がありまして、それぞれがそれぞれに合った、出し物と言っては変ですがけれども、先ほど課長がおっしゃったように、斉唱あり、それから音楽劇あり、リズムを使ったパフォーマンスありで非常に

楽しそうに、すばらしい発表を聞かせてもらいました。

それから、資料にありましたけれども、会場講師の中学校の先生からの講評がとてもすばらしくて、細かいところにも目を配り、子どもたちの、児童の様子を、感想、また意見としてお話しくださったのがとても印象的でした。非常にありがたいお言葉だなというふうに感じました。

明石委員 ちょっとお聞きしたいのですけれども、4年生は50校で、先ほど説明ありましたように中学年が大半ですよ。これは意味があれば非常に私は良いことだと思っているのです。4年生になると学校を代表して音楽コンクールに出ていける。5年生で2泊3日の少年自然の家で体験学習できる、6年生で短期の農山村留学をやっていますよね。そうすると、千葉市の小学校の6年間で、4年生で対外的に発表できる。キャンプに行ける、地域に入って短期の農山村留学という狙いを考えてよろしいのか、それともどういう形で4年生に、結果として多くなっているのか、その辺の狙いがどこにあるか知りたかったのです。多分小規模校は3、4年とかでなるのでしょ。非常に珍しいなと思っています。

福本指導課長 各学校では学年ごとに狙いを持って行事を組んでおりますので、5年生、6年生には農山村留学もございますので、意図を持って取り組んでいるということで理解していただければ良いかと思えます。

明石委員 わかりました。よく日本人は内向きだと言ってなかなか学校代表という、日の丸を背負うではないけど学校を背負って立つというのはなかなかチャンスがないので、こういう形で4年生でも学校を背負っているんだよというのがあったら、これから海外に出てきたときもうまくいくかと思ったので、非常にそういう意味で良い交流だと思っています。

内山委員 私も、これが第63回ということで、1950年代に始まったのですけれども、非常に感激して思います。私どものときにはこういう行事がなかったんですね。学校の中でもせいぜい学芸会だとか発表ぐらいで、でもそれでも印象は残っているのです。もう一つ言いたいのは、このために随分練習すると思うのです。早朝練習か放課後練習、どちらが多いのか、ちょっと実態を教えてくださいませんか。

福本指導課長 実態については把握できておりません。

和田委員 先ほど、明石委員の学校を背負ってということに関連してな

のですけれども、校内でここに送り出すまでに壮行会のような形で、学校の中で自分たちの演奏なり、次の表現の発表会にも通じますけれども、見せるようなシーンというのは設けられているのでしょうか。

伊藤学校教育部長 もちろん校内でも、子どもたち同士で見合う機会、また保護者に見せる機会も設けております。あと、先ほど内山委員からご質問があった練習ですけれども、音楽の授業で中心に扱って、その他、放課後だとか朝、学活の時間に歌うという練習を繰り返して成果を上げていると考えております。

内山委員 なぜ聞いたかというのと、やっぱりそれが一番大切だと思うのですね。本番はもちろんですけれども、一緒にみんなでやるという一つの連帯感とかですね。これが大切だと思いますね。

中野委員長 よろしいでしょうか。

報告事項(5) 第43回千葉市小学校表現運動発表会（花見川区・稲毛区・美浜区）について

中野委員長 保健体育課長、報告をお願いします。

中村保健体育課長 報告事項(5)「第43回千葉市小学校表現運動発表会（花見川区・稲毛区・美浜区）について」、報告します。今年度も私どものほうで映像を用意させていただきました。

本発表会は、学校体育の発表の場であり、児童の表現運動に対する興味関心及び表現力を高めるとともに、近隣校との交流を深める中で、心身の健全な発達と相互の望ましい人間関係の育成を目的としております。平成28年6月22日に10会場で実施されました。

各会場校及び参加校は画面のとおりでございます。近隣から7校が10会場に分かれて実施し、1,778人の児童が参加いたしました。

次に、大会当日の活動の様子について写真をご覧ください。表現運動は、いろいろな題材から表したいイメージを捉え、即興的な表現や簡単な一まとまりの表現で踊ることを狙いとしております。ここでいう表したいイメージとは、激しい感じとか恐ろしい感じ、躍動感、スピード感などです。つまり、体で表現するのか、または歌や楽器、文字、筆等で表現するのかの違いで、音楽、作文、絵画等と同じ表現活動と考えていただければと思います。

この写真ですが、ジャングル探検という題材の動物が狩りをしている場面で、動物たちの戦いの力強い感じ、激しい感じなどを

表現している姿です。同じくジャングル探検という題材の、動物たちが獲物探しをしている場面で、上下左右の動きやスピードを変えながら追いつ追われつなどの対応する動きを使って緊迫感や恐ろしさを表現している姿です。

次は、海中探検という題材のイルカたちが仲間と一緒に泳いでいる場面で、楽しさやスピード感、躍動感などを表現している姿です。

最後に、実際の発表会の様子をご覧ください。こちらは、海中探検という題材で、海の中で海草たちが波に揺られたり、漂ったりしている場面で、まったり、ゆったりした感じなどをあらわそうとしている様子の映像となります。一人一人が頭から手足の先まで、体全体を使って思い思いに表現している姿が見られます。表現運動という世界に浸っている様子も見られます。

発表会の題材ですが、題材としては探検が多くなっています。未知のものに対する創造力が刺激され、多様な場面やおもしろい動きを引き出しやすい題材であるためです。児童は、自分が選んだ題材の特徴や感情を捉え、表したい動きを中心に、始めと終わりをつけた一つの演技にして、頭から手足の先まで使い、感情を込めて表現しておりました。また、互いのよさを生かし合って仲間と交流して踊る楽しさや喜びを味わうことができました。

また、発表会で他校の友達とお互いに表現運動を見合ったことで、自分たちの表現をさらに深めていきたいという意欲が高まりました。

最後に児童の感想ですが、「体全部を使って自分のイメージを表現できて楽しかった。」ほかの学校の表現がとても上手で勉強になった。「ほかの学校の人たちがおへそをいろいろな方向に向けて表現していたのですばらしかった。」などが挙げられました。今年度も多くの子どもたちが表現運動の楽しさを味わうことができた、充実した発表会となりました。

中野委員長 ありがとうございます。それでは、審議に移りますが、質問等含めまして何かございますでしょうか。

内山委員 これも40年以上前からやっているということで感心しているのですけれども、私も3、4年前ですかね、初めてこの場を見学しました。こんなものがあるのだとびっくりしたのですけれども、どういう発想でやっているのかなと思いました。そのときは、探検のグループが多かったですかね、この題材の選び方というの

は何かにあるのでしょうか。

中村保健体育課長 3、4年生が中心に発表会をしているのですが、3、4年生のことをいいますと、やはり子どもたちがイメージを膨らませやすいものということで、探検に含まれている未知というものに対する興味関心、そういったものが生まれるような題材ということで選ばれております。

あとは自然現象、例えば火山の爆発とか、そういったものも取り上げられました。

中野委員長 ほかに質問はいかがでしょうか。

報告事項(6) 第69回千葉市中学校総合体育大会の開催について

中野委員長 保健体育課長、報告をお願いします。

中村保健体育課長 報告事項(6)「第69回千葉市中学校総合体育大会の開催について」、報告します。

この大会の種目、会場、日程につきましては、資料の会場及び日程のとおりでございます。今年度は7月16日から大会が開催されており、本日で5日目を迎えております。明日、最終日となります。

本大会は、駅伝、ダンスを除く16種目の競技に本市中学生約9,000人が選手として参加する大会であり、千葉県中学校総合体育大会、関東中学校体育大会、全国中学校体育大会へとつながる中学生にとっては最も大きな大会でございます。この大会の開催に当たりましては、多くの中学校教職員が中学生のために協力しております。心配されます熱中症につきましては、各学校の顧問等による健康管理の徹底とともに、各種目専門部で定期的に注意喚起の放送を入れるなどの具体的対策をとるなど予防に努めており、昨日までの4日間、熱中症による救急搬送はございません。

上位大会となります千葉県中学校総合体育大会は、7月25日から8月2日までの9日間、県内各地で行われます。本市では、陸上競技、サッカー、軟式野球、体操競技、ソフトテニス、ソフトボール、硬式テニスの7種目が開催されます。関東中学校体育大会は、8月5日から11日までの7日間、関東各地及び山梨県で開催されます。

全国中学校体育大会は、8月17日から25日までの9日間、北信越地区において開催されます。昨年度は全国中学校体育大会の体操競技男子の部において、泉谷中3年の村山さんが個人総合

で優勝というすばらしい成績を残しました。本年度も各会場で重ねてきた練習の成果を生かした熱戦が繰り広げられるとともに、上位大会においても本市代表選手が大いに活躍する姿を期待したいと考えております。

なお、駅伝につきましては9月27日、ダンスにつきましては11月4日の開催となります。結果につきましては、例年どおり今後の教育委員会会議でご報告させていただく予定でございます。

中野委員長 ありがとうございます。それでは、審議に移りますが、質問等含めまして何かございますでしょうか。

内山委員 大よそ生徒が関心を持つ種目といたしましょうか、例えば卓球等含めてどれが一番人気があるのか、3つぐらい挙げてもらえますか。人数だけではないでしょうか。

中村保健体育課長 多いのは、野球、サッカー、バスケットボールやソフトテニスというところが多かったと思います。

中野委員長 ほかにどうでしょうか。今年も全国大会で優勝しそうな方は選手の中にいらっしゃるのでしょうか。お願いします。

中村保健体育課長 活躍が期待できる選手というか、これまでの実績から考えますと、全国大会に出場できそうなのが野球で磯辺中、これは県の新人戦で優勝しております。平成28年春の全国ベスト8になっているということで、期待できます。水泳ですと、幕張西中の3年生男子が県の新人戦で優勝して、全国決勝に残れるタイムということで、自由形もしくは個人メドレーで期待がかかっております。3つ目で、柔道は、轟町中の3年生男子が、66キロ級、県の新人戦で優勝しておりますので期待されます。最後に、剣道は、幕張本郷中3年生男子が、これも県の新人戦優勝ということで全国大会に行つての活躍に期待が高まっております。

全国大会に行けるか、行けないかということで卓球、千城台南中の3年生男子が男子シングルスで五分五分ぐらいかなというところがございます。

中野委員長 ありがとうございます。ほかによろしいでしょうか。

議案第25号 平成29年度千葉市立養護学校高等部及び高等特別支援学校入学選考要項について

中野委員長 指導課長、説明をお願いします。

福本指導課長 議案第25号「平成29年度千葉市立養護学校高等部及び高等特別支援学校入学選考要項について」、説明します。

議案第25号「平成29年度千葉市立養護学校高等部及び高等特別支援学校の入学者選考要項について」でございます。

本年度も昨年度と同様に、特別支援学校高等部入学者の募集及び選考要項につきましては、千葉県と同一歩調を進めていくことになりました。本要項では、千葉市立養護学校高等部普通科と千葉市立高等特別支援学校普通科職業コースになりますが、その2つが対象となります。

応募資格につきましては、両校とも知的障害を有し、療育手帳もしくは医師の診断を有することが応募資格ということになっております。高等特別支援学校では、これに加えて「自力通学が可能な者」を加え、知的障害が軽度な生徒に対する学校としての特色を明確にいたしました。

通学区域につきましては、千葉市立養護学校高等部普通科では、中央区、若葉区、緑区、稲毛区の一部に居住または入学までに住所を有する者としております。同じく千葉市立高等特別支援学校普通科では、市内に居住または入学までに住所を有する者ということになります。

次に、入学者選考要項について説明いたします。千葉市立養護学校高等部普通科につきましては、通学区域は、先ほど説明いたしましたとおりです。入学定員につきましては、特に定めがありません。出願につきましては、平成29年1月13日までに千葉市立養護学校での進路にかかわる教育相談を必ず行うこととしております。

手続につきましては、資料にあるとおりでございます。入学候補者の選考につきましては、入学許可候補者の決定になりますが、これまでどおりの選考方法で、平成29年2月13日月曜日及び14日の火曜日、いずれかの1日とし、検査・面接等を行い、総合的に審査してまいります。

続きまして、千葉市立高等特別支援学校の普通科(職業コース)につきましては、通学区域は、先ほどのとおり、市内全域となっております。定員につきましては、第1学年で32名としております。出願からの流れにつきましては、出願及び志願の変更及び取消のところをご覧ください。

出願者につきましては、平成28年12月7日までに千葉市立高等特別支援学校による進路にかかわる事前教育相談を行うこととしております。

なお、提出書類等においては、必要に応じて提出する書類の中の一つに、様式16、自己申告書を希望する者のみ提出することとしています。様式16につきましては、資料の後ろに掲載しておりますので、ご覧いただければと思います。

入学者の選考は、入学許可候補者の決定にありますように、入学選考日を平成29年1月17日火曜日と18日水曜日とし、千葉市立高等特別支援学校を会場にて行います。選考方法につきましては、作業能力検査、学力検査、運動能力検査、面接等を行い、総合的に審査いたします。

なお、選考日は、県立特別支援学校高等部普通科と同一の日としており、選考方法の検査項目や学力検査の問題は県と同一のものとなっております。

また、入学許可候補者数が発表時に定員に満たなかった場合には、2次募集を行います。

入学許可候補者とならなかった者が、他の高等部普通科を志願する場合の手續と日程につきましては、入学許可候補者とならなかった者で高等部普通科を志願する場合については資料をご覧ください。第2次募集でも入学許可候補者とならなかった場合、市立養護学校や県立の特別支援学校願書等が提出できる日程になっております。

中野委員長 ありがとうございます。それでは、これより審議に移りますけれども、質問等含めまして何かございますでしょうか。

和田委員 すみません、今までにもあったと思うのに質問してこなかったことだと思うのですけれども、一番最後の資料で自己申告書が必要に応じて提出する書類ということの範疇ということでもあります。ということはこれは、特に入学考査には関係がないということになるのでしょうか。

福本指導課長 自己申告書につきましては、一番下の注意のところにもありますけれども、遅刻、欠席、早退が多い場合の理由ということで記載いたします。そういうことから、欠席ということで何か理由があれば記入するというところで、審査に大きく影響することはありません。

和田委員 わかりました。ありがとうございます。理由を説明するということですね。わかりました。

福本指導課長 はい。

中野委員長 ほかにいかがでしょうか。基本的には同じですね。変わりは

ないこととなります。よろしいでしょうか。

それでは、ほかにご質問もないようですので、議決に移ります。議案第25号「平成29年度千葉市立養護学校高等部及び高等特別支援学校入学者選考要項について」を原案どおり可決したいと考えますが、いかがでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

中野委員長 ご異議ないようですので、原案どおり可決といたします。

以上で公開審議案件に係る審議が終了しました。委員の皆さん、ここまででその他として何かご質問等ございますでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、特にないようですので、次に報告第6号に係る審議に移りますけれども、以降の審議につきましては非公開となりますので、傍聴人の方は退室をお願いします。また、あらかじめ指定した職員を除き、それ以外の職員も退室をお願いいたします。

(傍聴人等、退出)

報告第6号 県費負担教職員の処分について

委員長 教職員課長、説明をお願いします。

教職員課長 報告第6号「県費負担教職員の処分について」、報告します。

本来、教職員の処分につきましては、千葉市教育委員会組織規則第8条4号の規定に基づき、議案としてご審議いただく案件ではありますが、同規則第9条第1項の規定に基づき、臨時会議により処理を行いましたので、ご報告させていただきます。お配りいたしましたお手元の資料をご覧ください。

処分年月日は、平成28年6月29日です。被処分者は、新聞報道でもございました千葉市立●●●小学校教諭、●●●●です。処分内容は、懲戒免職といたしました。処分理由といたしまして、被処分者は、平成28年6月21日火曜日の午後7時30分ごろ、JR稲毛駅の構内において盗撮行為を行いました。被処分者は、その場で公衆に著しく迷惑をかける暴力的不良行為等の防止に関する条例第3条第2項違反の疑いで、捜査員に身柄を確保され、事情聴取においてその事実を認めたものです。また、その中で、これまでも十数回行ったことも認めました。

このような行為は学校教育に対する市民の信頼を損ね、教職の信用を著しく傷つけたものであり、教育公務員として誠にふさわしくない行為であります。このことは、地方公務員法第33条に違反し、同法第29条第1項第1号及び第3号に規定するものと

認め、処分するものであります。

教育委員会では、今回の事案を重く受けとめ、再発防止策といたしまして3点、1つ目が、学校教育部長名で再度全校に文書を発出し、綱紀保持の徹底と信用失墜行為の根絶について、職員において周知徹底を図ること。

2つ目に、過日、7月4日でございますが、臨時校長会を開催いたしまして、学校教育部長、教職員課長より直接学校長に対して教員としての職責を十分に自覚し、保護者や地域の信頼を失うことのないよう指導を徹底しました。具体的には、チェックシートを活用し、管理職が個別に面談を実施する、過去の懲戒処分の案件を示して具体的な事例をもとに指導にあたるということで説明いたしました。

3点目といたしまして、管理訪問等で学校を訪問する際、今まで以上に服務規律の徹底を直接呼びかけています。

このようなことを行いながら、再発防止の徹底を図ってまいります。

6月、3件というわいせつ的な行為があったことに、本当に申し訳なく思います。

委員 長 それでは、審議に移りますが、質問等含めまして何かございますでしょうか。

これまで十数回もしていたわけですね。

教職員課長 はい。

委員 長 何か記録が残っていたのですか。

教職員課長 その都度動画で盗撮をして、確認後、消去していたものです。今回は、その場で身柄を拘束され、その場でスマホを押収されました。また、取り調べにおいても自供したものです。あと、我々も本人に直接話を聞く中で、今までのことを全て自白したものでございます。

委員 長 千葉日報の記事を見ても、盗撮はすごく多いですね。捕まった例が多く記事に載っているのに、どうしてやめないのですかね。必ず捕まりますよね。それをわかっていながらやるというのは、どうなのでしょう。何かございますでしょうか。

委員 その場で身柄を確保されたということは、ちょっと怪しいなと思って見られていたということなのですか。それとも被害者がそこで鉄道警察官に捕まったということなのでしょう。

教職員課長 鉄道警察官だと思います。エスカレーターを上った瞬間に

腕をつかまれたと聞きました。J R 稲毛駅は、千葉県内の中でも盗撮が多いと聞いています。捜査員も多く、ただ、目をつけていたわけではないと思います。被処分者はJ R 稲毛駅での行為は初めてと言っておりました。そこで張っていた鉄道警察官に捕まり、事実を確認し、本人も認めたということです。

委員 長 ほかによろしいでしょうか。今回の件につきましては、非常に遺憾なことであり、関係者の方及び市民の皆様には大変ご迷惑をおかけしてしまい、まことに申しわけないことでありました。再発防止に努めるようにしてください。

8 その他

(1) 第8回定例会は、事務局において日程を調整の上、開催日時を決定することとした。また、8月1日(月)午後2時より臨時会を開催することが決定した。

9 閉会

中野委員長より閉会を宣言